

第二期経営健全化計画「中期事業方針」の概要（全体像）

長期ビジョン
(2019~2025)

長期ビジョンの基本理念

< 4 つの柱 >

- 不断の改革・改善 ⇒ 収益確保・費用削減等の自助努力を着実に実行
- 地域との協働 ⇒ 行政との協働による地域医療の確保
- 患者本位 ⇒ 安全・安心な医療の提供に向けた療養環境の整備
- 職員重視 ⇒ 勤務環境の改善、職員の経営意識の向上

第二期経営健全化計画「中期事業方針」

1. 健全な経営・財務基盤の確立

(1) 経営健全化のための基本的な考え方

- ① 事業損益ベースでの利益確保
- ② 入院診療の充実と人員配置の適正化
- ③ 不採算医療への財政支援の要請
- ④ 自己資本の充実

(2) 効率的な業務執行体制の構築

- ① 職員の適正配置
- ② 業務効率化の推進
- ③ 効果的な外部委託の推進

(3) 収益確保対策

- ① 診療報酬の確保
- ② 地域医療・介護連携の推進
- ③ 効率的な急性期医療の提供

(4) 費用適正化対策

- ① 職員の適正配置（再掲）
- ② 材料費、その他の事業経費の適正化

(5) 施設・設備の効率的な整備

- ① 長期的な視点に立った計画的投資
- ② 施設の老朽化対策
- ③ 医療機器等の設備整備
- ④ 効果的なシステム導入と更新

2. 地域医療構想を見据えた医療提供体制の見直し

(1) 機能分化と地域医療連携の推進

- 各二次医療圏における厚生連病院の役割・機能の明確化
- 「病院完結型医療」からの脱却

(2) 病床の機能・規模の適正化

- 急性期医療中心に、回復期機能を併せ持った切れ目のない医療提供体制
- 地域医療構想に示す医療需要推計を踏まえた効率的な病棟運営

(3) 地域医療のあり方・方向性の提言

- 地域医療構想以後の医療提供体制を見据え、持続可能な地域医療のあり方や方向性の提言

3. 患者の視点に立った魅力ある病院づくり

(1) 安全で安心な診療体制の構築

- ① 感染症対策の徹底
- ② 医療安全管理体制、褥瘡対策、栄養管理体制の充実

(2) 患者サービスの向上

- 接遇への意識向上とレベルアップ
- 患者ニーズの的確な把握、患者の視点に立ったサービスの提供

4. 働きがいのある職場環境づくり

(1) 医療従事者の確保

- 人材の安定的な確保と定着
- 常勤医師による診療体制の確保

(2) 勤務環境の整備

- 安心して働き続けられる職場環境の整備
- 「医師の働き方改革」への対応

(3) 医療を担う人材育成と技術向上

- マネジメント教育プログラムの実施
- 職種ごとの人材育成プログラムや新人教育プログラム等の実施

(4) 職員満足度の向上

- 働きやすく風通しの良い職場環境づくり

5. 保健予防活動及び高齢者福祉活動の推進

- (1) 健康管理活動の充実
- (2) 高齢者福祉事業の取組み